

Kyoto Building Maintenance Association News No.66

公益社団法人 京都ビルメンニュース 第66号

発行日/2014年7月1日 発行所/公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会

つぎの50年にむかって ～感謝の半世紀を経て～



- 創立50周年記念事業盛会の内に開催
- 京都ビルメンテナンス協会総会開催
- 「安全と健康管理講習会」開催

CLEAN CREW



KBMA
公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会

公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会

☆創立50周年記念事業開催☆

平成26年5月21日(水) 13:30~ ホテルグランピア京都

5月21日(水)、ホテルグランピア京都にて(公・社)京都ビルメンテナンス協会50周年記念事業が盛大に開催されました。

第1部「シンポジウム」、第2部「基調講演」、第3部「記念式典」、第4部「祝賀会」の4部構成にて午後1時30分より第1部がはじまり、多くの方にご来場いただきました。

時間が進むにつれ盛り上がりが増し、関係者の皆さんは緊張の面持ちから喜びの笑顔に変わっておりました。

第1部 13:30~ 14:50 「古今の間」

ビジネスバリアフリーシンポジウム ~就労弱者支援の未来を考える~

50周年記念事業の最初の事業である、ビジネスバリアフリーシンポジウムのパネルディスカッションが、会場の古今の間において、午後1時30分より立命館大学教職教育推進機構教授 朝野浩氏、エッセイストグレイゾーン児童支援サークル主宰 樹邑亜美氏の2名をパネリストに迎え、渡守仁副会長の司会の下、執り行われました。

先ず、「就労弱者とは」ということで樹邑氏から、障害者・高齢者・グレイゾーンの説明があり、特にグレイゾーンについては、はっきりと障害者とは認定されていないものの、限りなくそれに近いなど詳しい説明を聞かせていただきました。

次に、グレイゾーンを含めた障害者と一緒に働くにはどのようなことが必要なのか、また就労支援にはどういふものがあり、その受入れに対して事業主はどう対処するかという質問に対し、朝野先生から事業主

の受入れに対しては、ストライクゾーンを広げてほしい、具体的には、その人にできる仕事には何があるのか等であると回答されました。

また、会場に出席しておられた鳴滝総合支援学校の竹内校長に意見を求めたところ、一人一人の特性を見極めて仕事につなげてゆくなどというご意見でした。さらに、京都ビルメンテナンス協会の花田会長にも同様の意見を求めたところ、支援学校などに直接出向き実際に自分の目で見る必要があると、よくできる人はたくさんいるということを理解してほしいとのご意見でした。

最後に、ビルメンテナンス業界における就労支援の可能性についての討議がありましたが、現在すでに京都ビルメンテナンス協会は、障害者に対する支援・指導を行い、アビリンピックの開催時には支援活動を行う等、積極的に活動を行っているとのことでした。



た。

また、この業界は具体的な作業が多く、彼らが働くにはわかりやすく、今までやってきた作業手順のテキストを京都市だけでなく、他の機会でも活用してもらうことで、今後さらに業界との関係は強固なものになるだろうということでした。

1時間20分にわたって行われたパネルディスカッションは、盛況のうちに終了しました。

第2部 15:00~ 15:45 「古今の間」

基調講演 「東京オリンピック・パラリンピック 日本再生の処方箋と経済効果」

講演 橋本聖子 参議院議員(JOC理事)

講演に先立ち、橋本氏より、昨年9月に決定した東京オリンピック開催に際しての誘致活動に、ビルメンテナンス協会から多大なるご協力を頂いたことに対し、お礼を述べられました。

講演は、ご自身の名前の由来、オリンピックとの係わりから始まり、世間では、橋本氏は天性の素質・体力に恵まれ日本を代表するような選手になられたものと思われていま



したが、そこには長年に渡る病気との闘いがあったそうです。

小学生の時、腎臓病を患い長期療養を余儀なくされ、また、初めてのオリンピックを目指していた時期に腎臓病、ストレスによる呼吸障害の病気、B型肝炎等、スポーツ選手としては致命的な病気に見舞われましたが、いろいろな障害を持った子供たちとリハビリを通じて接していく中で、「あきらめない」という言葉に気づかされ、病気と共存して行く心を持つことで、精神的にも随分と楽になり、身体機能の検査数値が徐々に改善されたそうです。橋本氏は、病気というハンデがあったからこそ、それに打ち勝つ努力をした結果、7回もオリンピックに出場することが出来たのだと思うと述べておられました。

日本は、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催という大きな目標を持つことが出来ました。そして、この目標に向けて、スポー

ツを通して医療・福祉・環境・観光にどれだけの影響を与える事ができるのか、日本国民は基より、世界中が注目しております。

そして、未来の日本を支えていくためには、スポーツを通じて心豊かな力強い子供を育ててゆくことが必要不可欠であると述べられました。

「東京オリンピック開催による経済効果は金額にして3兆円以上、15万人以上の雇用効果があるとの試算が出ており、2020年はあくまでも通過点にすぎず、国際的に信頼・尊敬される国造りを行う必要がある」と力説されました。

このような前提があつてこそ、未来のスポーツ界のビジョンと将来を考えていく子供たちを育てることが出来るのであり、オリンピックは日本再生の処方箋に成りうるのであれば、最後まで意義深いお話を聞かせていただきました。



第3部 16:15～16:45 「源氏の間」

創立50周年記念式典

午後4時15分より「源氏の間」におきまして、(公・社)京都ビルメンテナンス協会50周年記念式典が開催されました。

会場には伊吹文明衆議院議長、橋本聖子参議院議員、京都府山田知事、京都市門川市長はじめ、多くの行政関係各位、全国ビルメンテナンス協会より、戸隆男会長はじめ役員各位、全国各地区協会より会長各位、そして、各種関係団体、政治連盟など多くの来賓にお越しいただき、京都ビルメンテナンス協会会員の方々など約250名のご出席を賜り、豪華且つ厳粛な中、渡守仁副会長の開会の挨拶にて記念式典の幕が下りました。

先ずは、昔懐かしい京都協会の50年の歩みがDVDで放映され、皆さん感慨深く見られました。

続いて花田会長より、50年の歴史と成果、そして、「京都協会ここにあり」と言われるためへの今後の意欲と展望について述べられ、また、これまで育てていただいた先輩諸氏に対し、感謝と敬意を表されるとともに、出席者の皆様方に感謝をこめてお礼の言葉を述べられました。

続いて、山田知事、門川市長をはじめ、各方面から、当協会のこれまでの功績に対し、今後の期待も含めた祝辞を頂戴いたしました。

そして、50周年の節目として、当協会花田会長より京都府に対し、社会福祉活動を支援するための寄付金として金50万円が贈呈されました。

次に、当協会発展の為、長きに渡り貢献された方々への表彰が行われました。

●各表彰受賞者

〔京都府知事表彰〕

植西雅史氏・花田之宏氏

〔京都市長表彰〕

山本伸二氏・渡守仁氏・藤井忍氏

〔京都ビルメンテナンス協会会長表彰〕

植村昭輝氏・小泉康史氏・中尾宗和氏・

駒井敬寛氏・蒲生幸二氏

式典の終了に際し、公益社団法人全国ビルメンテナンス協会会長 戸隆男様より、京都協会がこの50年の間に積み重ねてこられた努力や貢献に対し、敬意と感謝の言葉をいただき、また、業界全体が活性化するためには、全国の協会員が一致団結し協力しあって行かなければならないと、今後の業界のありかたについて述べられました。

第4部 17:00～19:00 「源氏の間」

創立50周年記念祝賀会

午後5時より「源氏の間」におきまして、(公・社)京都ビルメンテナンス協会50周年記念祝賀会が、盛大な祝福の拍手をいただく中で、華々しく開催され、オープニングアクトとして、祇園甲部の舞妓さん4人が京舞にて錦上花を添えてくれました。

主催者を代表して、矢口名誉会長より、ユーモアを交えて50周年を迎えることが出来た喜びを表現され、来賓各位にご臨席のお礼の言葉を述べられました。

続いて、来賓を代表して、橋本聖子参議院議員、京都労働局労働基準部長 生長真人氏、植田喜裕京都府議会議員、繁隆夫京都市会議員各位より祝辞をいただいた後、全国ビルメンテナンス協会 狩野信彌名誉会長の乾杯のご発声にて祝宴がはじまりました。

途中、宮崎謙介衆議院議員の祝辞もいただき、それぞれのテーブルではご挨拶をしている人、昔話に花を咲かせている人、それぞ

れが、豪華な食事に舌鼓をうち、和やかな雰囲気の中で時間は過ぎていきました。

中締めの際し、植西雅史記念事業実行委員長より「1年以上に渡る準備を経て、今日、このように盛大に記念事業が催せましたのも、御来賓の皆様並びに、協会関係者の皆様方のおかげと、感謝の気持ちでいっぱいですが、本当にありがとうございました」とお礼を述べられ、全員での3本締めにて祝賀会は大盛況の内に散会いたしました。



第4回 公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会総会

平成26年5月14日(火) 13:30~ 京都府中小企業会館806会議室

平成26年5月14日(水)午後1時30分より、第4回通常総会が開催されました。(中小企業会館806会議室)

冒頭、花田会長より、「京都協会の50周年記念事業が目の前に迫っておりますが、皆様方には、開催準備にご協力を頂き、大変感謝しております。開催日当日もご協力の程、宜しくお願い致します。」

50周年の話が先になりましたが、本日の総会がスムーズに進行出来ますよう、皆様のご協力を宜しくお願い致します」と挨拶を

されました。そして、総会開会に先立ち、50周年記念事業当日に表彰をお受けになる協会功労者に対し、事前の会長表彰が行われました。

●受賞者

小泉康史氏(エヌケイビー)
中尾宗和氏(協栄ビル管理)
駒井敬寛氏(エヴァクリーン)
蒲生 幸二氏(近建ビル管理)
植村昭輝氏(員外監事) ※当日表彰



総会は、下坊総務厚生委員長が司会を務め、先ず、「本日の総会は、出席者56名(委任状含む)にて、定款26条(正会員の過半数)の条件を満たしており、本総会は成立します」との宣言により開会されました。

先ず、小泉康史氏が議長に選出され、併せて議事録署名人も選出のうえ、議案審議に入りました。

1号議案:平成25年度事業報告、2号議案:平成25年度決算報告、3号議案:平成26年度事業計画の3議案について夫々審議され、全ての議案が全会一致で承認されました。

続いて、報告事項として、平成26年度予算書に関する件、定款施行細則一部変更に関する件、又、各委員会からの報告が行われ、確認のうえ、了解されました。

引き続き、京都ビルメンテナンス政治連盟の通常総会が行われ、平成25年度活動状況報告・収支報告、平成26年度事業計画・収支予算(案)について報告が行われ、全て承認されました。

最後に、司会者より通常総会の終了が伝えられ、閉会しました。

以上

第39回「ビルクリーニング基礎講座初級」開講

平成25年5月29日(木) 京都府中小企業会館801号室

5月29日午後1時から午後4時30分まで、京都府中小企業会館801号室に於いて、第39回「ビルクリーニング基礎講座初級」を開講致しました。

11名の受講者は4班に分かれ、ビルクリーニング実技指導講師及び協会インストラクターより、清掃の基本道具である「タオル」「モップ」「自在箒」「ポリッシャー」の安全

で正しい使用方法と、効率の良い作業について実技指導を受けました。

受講者の皆さんには、ビルクリーニング技能検定を受検するしないに関わらず、清掃作業に従事するプロとしての意識と、これらの道具に対する最低限の知識を学んでいただくことが出来ました。



公益事業委員会 京都市朱雀工房にて「清掃講習会」開催

今年で17回目を迎える京都市朱雀工房での清掃講習会は、6月9日から9名の参加で始まりました。

花田会長から「初級中級コースでは清掃の基本を学んでいただき、上級は11月に名古屋で行われるアビリンピック参加に向けた講習となりますので、体調にはくれぐれも気を付けて頑張ってください」と挨拶がありま



した。

そして京都精神保健福祉施設協議会の上村様からは「清掃は就労のためだけではなく、普段の生活に欠かせないものなので、皆さん自身のステップアップに繋げて下さい」とのお話がありました。

初日は、山崎講師から「ビルの構造や仕事の種類」、津田講師から「汚れの種類や除去の仕方について」と題して講義が行われ、翌日からは、ダスタークロス・箒・モップでの実技指導が行われました。

また、朱雀工房の中島ジョブコーチより、過去15年間の講習会参加者の追跡調査結果についてお話があり、清掃関係の企業に16名、それ以外の企業に25名、福祉施設に10名と、夫々就労されていると聞かせていただきました。協会の地道な取り組みが少しでも就労支援に繋がっているのだと



実感でき、とても嬉しく思います。

中級コースは6月23日から7月2日に行われ、上級者コースは7月14日から始まります。

初中級コースは7月1日(水)に修了を迎え、今回の修了証書受領者は7名でした。

この講習会を通じて、一人でも多くの就労支援に繋がればと願っております。

第17回 KBMA チャリティーゴルフコンペ

50周年記念事業の成功と共に

平成26年6月3日(火) 瑞穂ゴルフ倶楽部

6月3日(火)、瑞穂ゴルフ倶楽部において、(公社)京都ビルメンテナンス協会主催「第17回チャリティーゴルフコンペ」が開催されました。

今回は、5月21日の「京都協会50周年記念事業」が無事終了した直後での開催となり、25名の参加をいただき、新緑の中、お天気にも恵まれ、OUT・INに分かれて、気持ちよくスタートして行かれました。

プレー終了後、小泉総務厚生副委員長の司会進行のもと、先ず「お預かりしましたチャリティ基金は、有益に使わせて頂きます」との報告で始まり、表彰式に先立ち、花田会長より「過日の50周年記念事業が皆様のご協力により、成功裏に終えましたことに

対し、心よりお礼申し上げます。

そして梅雨の中、天気にも恵まれ、怪我もなく楽しくプレーしていただき、何よりでした」との挨拶がありました。続いて、植西顧問より「50周年記念事業の実行委員長として、無事大役が果たせましたのは、皆様方のご協力のおかげと感謝しております。本当にありがとうございました」とお礼を述べられました。

そして表彰式に移り、結果発表は下位から順番に行われ、飛び賞に一喜一憂した後、初参加の中山一樹氏(ディバーシー(株))が見事優勝の栄に輝かれました。花田会



長より優勝賞品が授与され、記念撮影・優勝スピーチが行われた後、小泉副委員長の挨拶により、和やかな内に懇親会が終わりました。

<ゴルフコンペ結果発表>

		OUT	IN	グロス	ハンディ	ネット
優勝	中山 一樹(ディバーシー(株))	43	43	86	14.4	71.6
2位	山元 孝信(株美津和商会)	39	42	81	7.2	73.8
3位	林 玄史(ユシロ化学工業(株))	47	46	93	19.2	73.8

第8回 西日本サミットin福岡

平成26年6月10日(火) 福岡サンパレスホテル&ホール

6月10日(火)、福岡サンパレスホテル&ホールにて開催されました第8回西日本サミットin福岡に、渡守仁副会長・平井輝久青年部部長・青年部部員植西浩仁の3名が参加させていただきました。

セミナー第1部は「ビルメンが出来る省エネと、福岡市におけるインセンティブ契約について」と題した講義が行われました。

建物を維持管理する我々ビルメンテナンス業の者が、ビル設計・施工等、計画の早い段階から関わることができれば、建物

の省エネルギーやライフサイクルコストの削減に大きく貢献できるのではないかとのお話で、非常に興味深い内容でした。

セミナー第2部は、各代表者を交えてのクイズ形式のパネルディスカッションが行われ、京都協会からは渡守副会長が参加し、見事、優勝されました。

今回のサミットは、笑いもたくさん盛り込まれた内容で、有意義な時間を過ごすことができました。

記事:植西 浩仁



公益事業委員会 「安全と健康管理講習会」開催

平成26年6月26日(木) 閑臥庵

6月19日木曜日、梅雨の晴れ間の緑美しい瑞芝山閑臥庵において、当協会安全衛生委員会主催による「安全と健康管理講習会」が開催され、参加者は今年も定員の50名に達しました。

今年は、京都府健康福祉部生活衛生課副主査 大石様より「食中毒の予防」についてご講演いただき、昨年度の食中毒の発

生状況に関する説明と、ノロウイルスとカンピロバクターについての説明があり、①室内に滞留したウイルスを排除する為に換気を心がけること、換気設備(換気扇等)を稼働させること。②清潔の保持と消毒を励行すること。③「下痢」「嘔吐」等の症状がある人は、入浴はシャワーのみにするか、最後に入浴する等工夫をこらすこと。④ユッケ・生

レバー・刺身等、肉の生食をしないこと。夫々について力説されました。

更に、食中毒の予防方として、①菌をつけない②菌を増やさない③菌をやっつける、の食中毒予防三原則を徹底すること、手洗いは必ず複数回繰り返し行い、ウイルスをしっかりと洗い流すことを推奨されました。

《仏像について》その5

●十二支守り本尊

人はみな、生まれた年の干支(えと)によって守り本尊が定められています。
その守り本尊を慈しむことで、厄災から逃れられ開運の途が開けるともいわれています。
それでは、具体的にに見て行きましょう。

子(ね)年生まれ
千手観音

すべての悩みから救済し、願を叶えてくれるといわれる菩薩。



午(うま)年生まれ
勢至菩薩

知恵を表す菩薩で、苦勞と災難を避け、平安を招くといわれている菩薩。



丑(うし)年生まれ
寅(とら)年生まれ
虚空蔵菩薩

限らない福德圓滿、大いなる知恵を授けてくれるといわれる菩薩。



未(ひつじ)年生まれ
申(さる)年生まれ
大日如来

密教界最高の位の仏格を有し、永遠の繁栄を招くといわれている菩薩。



卯(うさぎ)年生まれ
文殊菩薩

苦勞や災難、疫病を絶ち切り、無辺の知恵を授けてくれるといわれる菩薩。



酉(とり)年生まれ
不動明王

悪魔や煩惱を絶ち切り、幸運と繁栄を招くといわれているお不動さま。



辰(たつ)年生まれ
巳(み)年生まれ
普賢菩薩

慈悲と英知の徳で人々を救済し、長寿のご利益を授けてくれるといわれる菩薩。



戌(いぬ)年生まれ
亥(いのしし)年生まれ
阿弥陀如来

大慈悲の力で深い悟りを与え、精神の救済を実現するといわれている。



みなさんの守り本尊は、いつでもどこでも、みなさんを護り、心の支えと平穏で実り多い日々と開運を願います。 合掌

KBMA Information [7月から9月の予定]

【公益事業委員会】

■ 委員講師合同会開催

・8月22日 京都府中小企業会館 801会議室

■ 京都精神保健福祉施設協議会

清掃講習会・中級[前期・後期]

・6月23～25日、30～7月2日 6日間

京都市朱雀工房

■ 京都精神保健福祉施設協議会

清掃講習会・上級

・7月14～16日、22～24日、28～30日 9日間

京都市朱雀工房

■ ビルクリーニング基礎講座・受験準備

・8月22日(第8回)

京都府中小企業会館 801会議室

■ ビルクリーニング基礎講座・初級

・9月9日(第40回)

京都府中小企業会館 801会議室

■ アビリンピック全国大会出場者練習会

・9月9日 午前

京都府中小企業会館 801会議室

■ アビリンピック全国大会出場者練習会

・9月19日 午前

京都府中小企業会館 801会議室

【経営開発委員会】

■ 委員会開催

・7月15日 協会事務局 会議室

【安全衛生委員会】

■ 委員会開催

・7月16日 協会事務局 会議室

・9月11日 協会事務局 会議室

■ 労働安全衛生標語募集

・7月1日～8月29日

京都ビルメンテナンス業安全衛生大会

・10月9日 京都テルサ

【青年部会】

■ 青年部西日本サミットin福岡

・6月10日

福岡サンパレスホテル&ホールにて開催

※別欄掲載

【広報委員会】

■ 委員会開催

・7月29日 協会事務局 会議室

■ KBMAニュースVol.66(夏号)

・7月発行

■ KBMA委員会対抗ゴルフコンペ

・8月4日 信楽カントリー倶楽部 田代コース

【総務厚生委員会】

■ 委員会開催

・7月2日 協会事務局 会議室

・8月20日 協会事務局 会議室

■ 平成26年度第1回例会

・5月14日 京都府中小企業会館 806会議室

■ 研修旅行

・9月3～4日 香川県へ

会員の變更事項

【正会員】

● 代表者・住所變更

株式会社トーケルプランニング・エヌ

代表者/野口孝子氏

〒612-8487 京都市伏見区羽東師菱川町173番地1斉藤ビル1F

TEL:075-925-0080 FAX:075-925-0082

(5月29日變更)

● 代表者變更

株式会社シティービルサービス

代表者/渡守 仁氏(5月14日變更)

【賛助会員】

● 住所變更

山崎産業株式会社 大阪営業所

〒556-0006 大阪市浪速区日本橋東3丁目10番2号

(3月15日變更)

● 代表者變更

株式会社リンレイ 大阪支店

代表者/大阪支店 支店長 和田豊充氏

(5月26日變更)

● 社名・代表者變更

ディバーシー株式会社から

シーバイエス株式会社

代表者/大阪支店 支店長 三浦 裕氏

(7月1日變更)

KBMA 京都ビルメンテナンスニュース

第66号(2014年夏号)

Kyoto Building Maintenance Association News

編集人:広報委員会 発行人:花田之宏
発行所:公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会
〒615-0042

京都市右京区西院東中水町17 京都府中小企業会館6F

TEL:075-314-8021 FAX:075-314-3860

ホームページ <http://www.kyoto-bma.or.jp/>

ビルメンテナンスのプロ集団に仲間入りしませんか?

私たちは多くの企業様の加入をお待ちしています。

詳しくはホームページ(公社)京都ビルメンテナンス協会検索)をご覧ください。ご覧頂くか、協会事務局までご連絡なくお問い合わせください。